

きょうらいもん
敬礼文

■ 楽曲データ

歌詞：パーリ語讃歌

楽曲：—

初演：—

初出：—

管理番号：M852

■ 創作の経緯

ハワイで第2次世界大戦以前から歌われていた、パーリ語による讃歌。

■ 校訂報告

校訂譜：『聖歌・讃歌集』第1巻収録

底資料：—

校訂の詳細：特記事項なし

■ 解説

この讃歌は、ハワイでは第2次世界大戦以前から歌われており、仏教讃歌集にも掲載されていました。歌詞はパーリ語で、原語での題名は「Vandana」といいます。

日本では1940年代の終わり頃から、京都女子学園の礼拝で《さんだんのうた》などとともに用いられるようになりました。その後、この形式での音楽礼拝が宗門関係学校や仏教婦人会などを中心に広まっていきました。

ご制定となった『音楽礼拝—正信念仏偈による』でも、冒頭で歌われます。

◆ 意味

かの世尊・応供・正等覚者に帰命したてまつる

※『音楽礼拝—正信念仏偈による』（本願寺出版社、2010年）より

◆ 歌い方

《敬礼文》の楽譜には拍子記号や小節線が記されず、譜割り（音符と歌詞の対応）も一部を除きされていません。それは、朗誦に近い唱え方することを示しています。

音楽礼拝では、調声人の独唱で歌われます。

曲の終わり部分、「sammāsambuddhassa」は、「サンマーサンブッダッ
サ」と、長母音の「mā (マ)」を伸ばして歌います。かつては、最初の
「サ」を伸ばす歌い方がよくされていきましたので、ご注意ください。

◆参考動画

浄土真宗本願寺派公式YouTubeチャンネルでは、『音楽礼拝—正信念仏偈によ
る』の動画（歌詞付音源）を配信しています。歌い方の参考になさってくださ
い。下記URL・QRコードからアクセスできます。

<https://youtu.be/QGj-kKcxfHY?si=sP62OaUBMCPg0xmH>



Copyright: Jodo Shinshu Hongwanji-ha Research Institute. All Rights Reserved.